

第8回 ラウンジのひととき

舞踏ダンス

「しゅうさんの家のほうへ」

出演：福士 正一（舞踏家）



撮影:福士輝子

踊るということ

手探りで、自分の「舞踏」を探してきました。雪の上でも、照り返す歩道でも、季節に裸足のカラダを晒してきた。必死になるほど、隠そうとした滑稽なカラダがあらわになる。情けないザマを踊り続けながらも、いつも景色の中に身を置いてきた。やがてカラダが景色に追いすがり、景色もまたカラダに追いすがる。舞台はいつでも、狂気と紙一重。危うい覚悟の連続だ。覚悟のない踊りなんて、コンビニの砂糖菓子みたいなものだ。それでも、気づけばまた手を伸ばしてしまう。

プロフィール

1953年青森市生まれ。オドラデク道路劇場主宰。青森高校在学中に寺山修司に触発され、山形大学で演劇を始めるが、舞踏家森繁哉と出会い、その踊りと向き合う生き方に魅せられ舞踏を志す。帰郷後は「公務する舞踏家」として35年間青森市職員を務めながら踊り続け、現在はフリー。市場や商店街、寺社、公園など日常の場で踊り、50年で1500回を超える公演を重ねる。景色をねじり人々の記憶をあぶり出す踊りは「正ちゃんダンス」と親しまれ、海外12カ国18回の公演歴を持つ。

1997年青森県芸術文化奨励賞受賞。

日 時 令和7年12月6日（土）午後2時～3時

会 場 弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ

観覧料 一般100円、小・中学生50円

（市内の65歳以上、市内の小・中学生、市内の留学生、市内外の障がいのある方、
ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方は無料です。）

*先着25名の事前申込制になります。

*申込は11月6日（木）以降にお電話か文学館窓口まで。（受付時間：午前9時～午後5時）

弘前市立郷土文学館 TEL 0172-37-5505

